

多様な症状を呈する レビー小体型認知症 (DLB) の 診断の難しさ ~DaT-SPECTの有用性~

演者

内海 久美子先生

砂川市立病院 副院長・認知症疾患医療センター長

日時

2021年7月7日(水) 19:00-19:45

レビー小体型認知症 (DLB) の臨床診断基準が2017年に改訂され早4年が経過する。改定前2005年版では示唆的特徴であったSPECTまたはPETで示される基底核におけるドパミントランスポーターの取り込み低下は、2017年改訂版では指標的バイオマーカーとしてより重要な位置づけとして示されている。一方、DLBは必ずしも認知障害を初発としておらず、幻視、うつ、幻聴、妄想などの精神症状が初発となるケースも多くみられ、多様な初発症状がDLBの診断を困難にしている。したがってDLBを早期により精度高く診断するためにも症状とバイオマーカーを組み合わせることが重要である。本Web講演会では症例提示を中心にDLBを疑うべき症状とDaT-SPECT検査の有用性について考察する。明日からの診療に役立てていただければ幸いである。

事前視聴登録サイト

URL lpage.nmp.co.jp/c

上記ページより、事前登録をお願いいたします。
ご登録後、当日視聴用URLをEメールにて送付させていただきます。



QRコードから
もアクセスいた
だけます

* 事前登録サイト申し込み期限：7月6日(火) 12時
(開催当日10時より申し込み受付再開致します)

事前登録いただいた方にはご登録完了後24時間以内に①登録完了メール、講演会当日には②リマインドメールを差し上げます。

※一部、Gmail等をご利用の先生方には弊社からのメール(①及び②)が届いていない事象が発生しております。

必ずご確認賜りますようお願い申し上げます。①及び②のメールが届いていない場合は、お手数ですが下記の問合せ先までご連絡ください。